

新年にあたって

会長 加藤 信孝

新年 明けましておめでとうございます。



新しい年を迎えられ、会員各社におかれましては、新しい気持ちで目標に向かって取り組まれていることと推察申し上げます。当工業会も会員各社にお役に立つ組織として新たな気持ちで取り組んで参りたいと考えております。

そこで本年は、第一に地球温暖化対策の時流に乗り、しっかりと取り組むこととさせていただきます。設定したCO₂削減目標を具体的に邁進する初年度となり、日本においては、2030年度排出量を、2013年度比26%削減することが決まりました。これから具体的に色々な施策が実行される事と思っております。

その中においてRPFのCO₂削減に対する有効性も再確認されるものと思っております。当工業会と致しましても、政府から発せられる各種情報の的確な把握と、需要家各社の動き等をタイムリーに会員各社へ提供して参りたいと考えております。

会員各社におかれましても、飛躍のタイミングを的確につかみ、新しく発生するであろう需要に対応して頂きたいと思っております。

第二にRPFの品質向上対策でございます。JIS製品として認められた現在、一段と品質の向上を図り、需要家の要望に積極的に対応することが、新たな需要を生み、この業界の発展につながると考えております。

又、容り法の処理対応産業としての地位を確立することとさせていただきます。工業会としても全力を挙げて取り組んで参りたいと考えております。

第三に、当日本RPF工業会は、RPF生産工程における災害の減少に全力を挙げて取り組んで参ります。安全安心は、いかなる事よりも優先される最大のテーマです。安全安心な工場作りに有効な情報の提供と、相互研究の場所の提供を積極的に行って参りたいと考えております。

以上、本年も大きな課題が有りますが、会員各社のご協力により一歩ずつ前進して参りたいと考えております。

本年1年よろしくお願ひ申し上げます。



平成 27 年活動と報告

1)RPFの容り法の手法について

現在は燃料(サーマルリサイクル)として認められているが、この状況では年間 65 万tより増える見込みがなく、材料・ケミカルで十分に足りてしまっているため、非常に難しいと考えられる。よって、RPFを認めていただき入札への参加を確保するため、RPFをケミカルとし、施設許可申請時にケミカル申請することで、入札に参加できるようになりました。(申請・登録は別途必要です。)

2)低炭素型廃棄物処理支援事業の対象となった件

工業会として国に働きかけをおこなった結果、環境省の平成 28 年度低炭素型廃棄物処理支援事業でRPF設備が支援の対象となる概算要求がされました。

この要求が本予算として通れば、平成 28 年度から平成 32 年度の 5 年間の支援事業となるので活用をお勧めいたします。ただし、他業種設備も含めた全体で年間 17 億円の補助となります。

詳細は、環境省のホームページよりご確認願います。

3)臭素系難燃剤HBCD(ヘキサブロモシクロデカン)規制の件

環境省より、燃料であるRPFについては臭素系難燃剤 HBCD の規制外とするという報告を受けました。これは、各大手製紙会社ではダイオキシン規制法に基づいた焼却炉を使用しているためです。

平成 26 年 3 月以前の量は、この HBCD が使用されています。150 度以上で熱すると有害物質を発生しますので、高温での成型をされている企業はご注意ください。

また、燃料化せず焼却する場合は、規制が掛かることも考えられますので、こちらもご注意ください。

4)日本製紙連合会との意見交換会について

日本製紙連合会との意見交換会を行ない、品質向上やコスト、相互のメリットなど、直接的に意見交換ができる状況を作りましたので、これからも情報交換等の活動をしてまいります。

5)平成 27 年度再商品化における固形燃料の在り方検討会への出席

一般社団法人環境情報科学センター(環境省リサイクル推進室より請負)主催でおこなわれている検討会に、環境省からの紹介でオブザーバー参加しています。

この検討会は、容器包装リサイクル法におけるプラスチック製容器包装の再商品化において、専門家の調査方針に従いながら、固形燃料(RPF)を用いた手法の化学的挙動について文献調査等を行い、結果を取りまとめることを目的としたものです。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。今年の干支は丙申(ひのえさる)です。東洋思想家によれば、昨年までは出た草木の芽が外界の抵抗が強いために真直ぐに伸びないで曲折する状態でしたが、「丙」では陽気、活気が一段と伸張して、芽が力強く伸びる状態です。「それぞれの分野においてぐずぐずすることなく積極的に活発にやっけていかねばならぬ」という事を「丙」は教えています。また、「申」は電光が走る形象で「伸」に通じます。真直ぐに伸びるという意味です。今年は「陽気盛んの中、真直ぐに伸びる」という稀に見る良い干支です。近隣諸国との関係、東京オリンピック開催準備などもやもやも晴れ、今年は一気に景気も伸張するのではないかと予感します。会員の皆様の本年のご多幸とますますのご発展を祈念いたします。